

# 取扱説明書

## 卓上オートコレクター LC-500



ご使用になる前に、この「取扱説明書」をよくお読みください。また、いつでもお読みになれるよう保管場所を決めて、大切に保管してください。

March.19.2021



## 警告表示について

本機を正しくお使いいただき、人体への危害や財産への損害を未然に防止するために、次のような警告表示を使用しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



### 注意が必要な部分

機械動作時に注意が必要な部分です。

注意ラベルが貼ってある部分は、怪我をする恐れがあるので絶対に手を近づけないでください。



### 警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重症を負う可能性が想定される内容を説明しています。



### 注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を説明しています。

本機は卓上で使用する製品です。

この装置は、クラス A 情報技術装置です。

この装置を家庭環境で使用すると、電波妨害を引き起こすことがあります。

この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

- ご使用の前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、危害や損害を未然に防止するためのものです。
- 「安全上の注意」に使用されている絵表示の例。



○ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な禁止内容が描かれています。(左図の場合は分解禁止)



● 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容が描かれています。(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)

## 安全上の注意

### ⚠ 警 告

○	交流 100V 以外の電圧で使用しないでください。またタコ足配線しないでください。 火災・感電のおそれがあります。
	この機器の上に花瓶・植木鉢・コップや水の入った容器を置かないでください。 こぼれたり、水が中に入った場合、火災・感電のおそれがあります。
	電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。 また、コードの上に重いものを乗せたり、引っぱったり、無理に曲げようとししないでください。 電源コードを傷め、火災・感電のおそれがあります。
	濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。 感電のおそれがあります。
	アース線を必ず接続してください。アース接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行って下さい。又、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行って下さい。アース線を接続しないで万一、漏電した場合は、火災や感電のおそれがあります。
	同梱の電源コードは本機専用です。他の電気製品では使用しないでください。 火災や感電のおそれがあります。
○	この機器のカバーは外さないでください。 感電やけがのおそれがあります。
	この機器の分解はしないでください。 感電やけがのおそれがあります。
●	発熱していたり煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のときは、すぐに電源スイッチを切り、販売店もしくはお客様相談室までご連絡ください。 そのまま使用すると火災・感電のおそれがあります。
	異物（金属片・水・液体）が機器の内部に入った場合は、まず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店もしくはお客様相談室までご連絡ください。 そのまま使用すると火災・感電のおそれがあります。

## ⚠ 注 意

	駆動部分には手を触れないでください。 けがの原因になります。
	髪の毛・ネクタイ・ネックレス等をローラーなどの駆動部に近づけないでください。 けがの原因になります。
	本機器は卓上に設置して使用するよう設計されています。 設置の際は、ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。 落ちたり、倒れたりしてけがの原因になります。
	湿気やほこりの多い場所に置かないでください。 火災・感電の原因になります。
	給紙テーブルや排紙テーブル周りの隙間には、絶対に指などを差し込まないでください。 けがの原因となることがあります。
	用紙を取り除く際など本体内部に手を入れる場合は、突起物や板金の端に触れないようにご注意ください。 けがの原因となることがあります。
	電源コードを抜く時は、必ずプラグを持って抜いてください。 電源コードを持って引っぱるとコードが傷つき、火災・感電の原因になります。
	給紙テーブル・補助テーブル・排紙テーブル・転倒防止板が正しくセットされているか、確認してください。外れてけがの原因になります。また、給紙テーブル・補助テーブルの取付け、取外しの際は、機械の転倒に十分注意してください。
	本機器を移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 コードが傷つき、火災・感電の原因になります。
	連休等で長時間本機をご使用にならない時は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

## はじめに

ご使用になる前に、この「取扱説明書」をよくお読みください。

特に「△警告」、「△注意」は必ずお読みの上、正しくお使いください。

この「取扱説明書」は、必要な時にいつでもお読みになれるように保管場所を決めて、大切に保管してください。

この製品は改良のために、仕様を変更する場合があります。このため同一製品においても「取扱説明書」の記載内容が異なる場合がありますので、製品ごとの「取扱説明書」を混同して使用しないでください。

## 注意が必要な部分

機械動作時に注意が必要な部分です。

注意ラベルが貼ってある部分は、怪我をする恐れがあるので絶対に手を近づけないでください。



注意ラベル

注意ラベル貼り付け箇所(①～⑥)



No.	名称 注意する部分	詳細図	No.	名称 注意する部分	詳細図
① ～ ②	バックドア内 用紙搬送部  上部から下部にか けてゴムローラー が回転している部 分全体		④	上排紙ローラー 上排紙ローラー 周辺の隙間	
			⑤	下排紙ローラー 下排紙ローラー 周辺の隙間	
③	排紙テーブル左側  排紙テーブルと 転倒防止板の隙間		⑥	排紙テーブル右側  排紙テーブルと 転倒防止板の隙間	

# 目次

1. 設置前の注意事項	
1.1 設置について	7
1.2 設置場所の確認	8
1.3 付属品の種類・数量の確認	9
2. 製品各部の名称	
2.1 外観	10
2.2 操作パネル部	12
3. 特に注意していただきたいこと	
3.1 用語の定義	14
3.1.1 マーク解説	14
3.1.2 用語解説	14
3.2 特徴および使用目的	14
3.3 使用しないとき	14
4. 使用前の準備	
4.1 付属品の取付け	15
4.2 給紙圧の設定	18
4.3 セパレーター圧の設定	18
5. 使用方法	
5.1 操作の手順と方法	19
5.1.1 電源 ON	19
5.1.2 用紙のセット	19
5.1.3 排紙ガイド・スライドポールのセット	21
5.1.4 丁合	22
5.2 カウンター	23
5.2.1 加算モード	23
5.2.2 減算モード	23
5.3 速度切替え	23
5.4 全段／連段切替え	24
5.5 区分け 有／無	25
5.6 合紙モード	26
5.7 伝票モード	27
5.8 合紙／伝票データの記憶	28
5.9 合紙／伝票データの呼出し	28
5.10 リポート機能	29
5.11 単独／連結の切替え	30

5.12	トータルカウントの表示 .....	30
6.	保守・点検・消耗品	
6.1	点検・お手入れ時の注意事項 .....	31
6.2	日常のお手入れ .....	31
6.3	消耗品について .....	32
7.	トラブル時の処置	
7.1	ランプ点灯／点滅時の対処 .....	33
7.2	トラブルの内容と処置 .....	34
7.3	故障の場合 .....	36
8.	移設または廃棄するとき	
8.1	移設 .....	36
8.1.1	旧設置場所からの撤去作業 .....	36
8.1.2	運搬 .....	36
8.1.3	移設先での設置 .....	36
8.2	廃棄 .....	36
9.	製品仕様	
9.1	仕様 .....	37

# 1. 設置前の注意事項

## 1. 1 設置について

### ⚠ 注 意



卓上コレクター専用台の上にコレクターを設置してください。  
ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。  
落ちたり、倒れたりしてけがの原因になります。

湿気やほこりの多い場所に置かないでください。  
火災・感電の原因になります。

※接地接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。又、接地接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行って下さい。

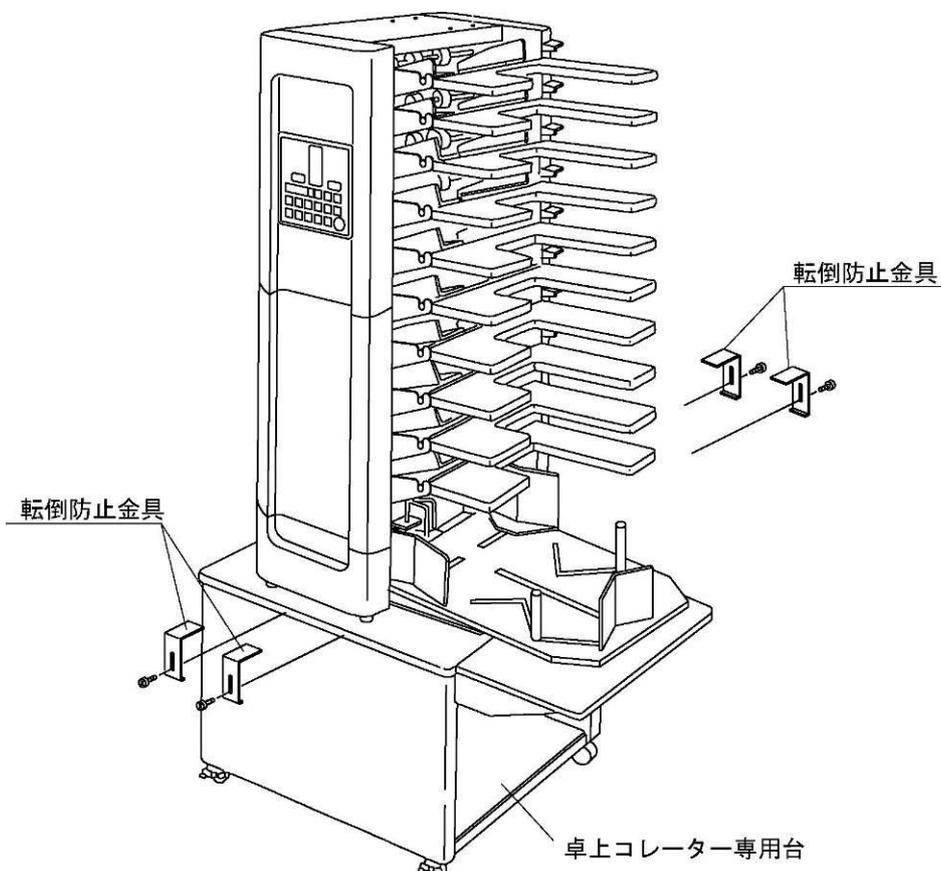
※本機を設置する場合は、卓上コレクター専用台（オプション）を使用してください。

卓上コレクター専用台には転倒防止金具等の安全対策がしてあり、またコレクター単体でも後処理機（ステーブラパンチ等）連結時でも全体の平行が保てるよう設計されています。

※コレクター使用中及びコレクターの付近で作業をしているとき、本機に寄り掛かったりしないでください。転倒の恐れがあります。

※コレクター本体を移動するとき、本体の上部を押すと転倒する恐れがありますので移動の際は卓上コレクター専用台を持って移動してください。

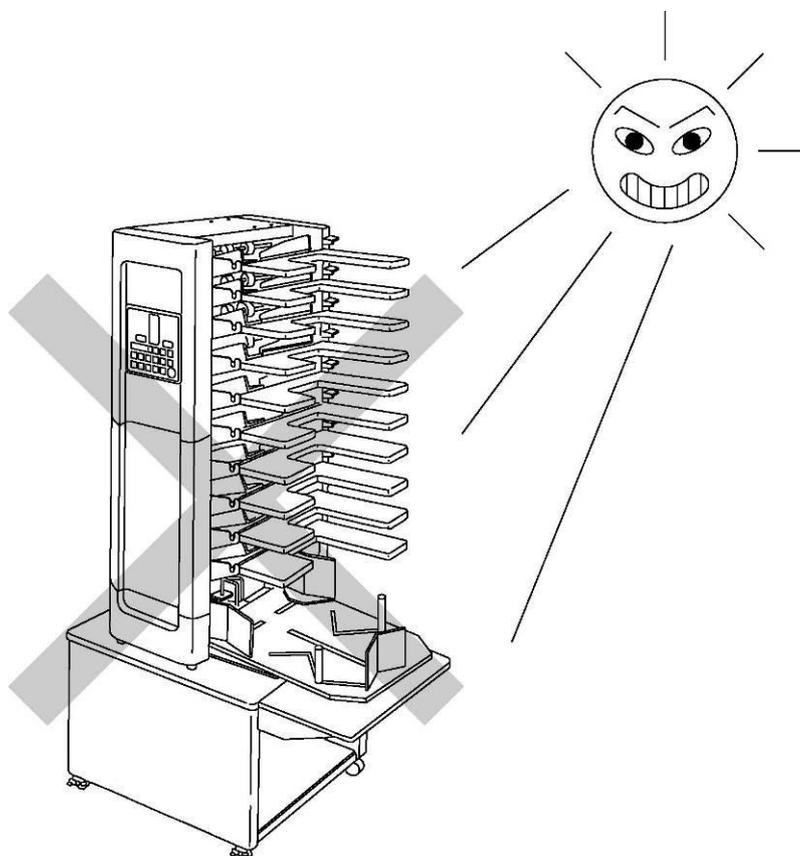
※コレクターを設置したとき、転倒の恐れがある場合は壁固定金具（別売）にてコレクターを壁に固定してご使用ください。



## 1. 2 設置場所の確認

次のような場所は安全上、または機械の故障になりますので、避けてください。

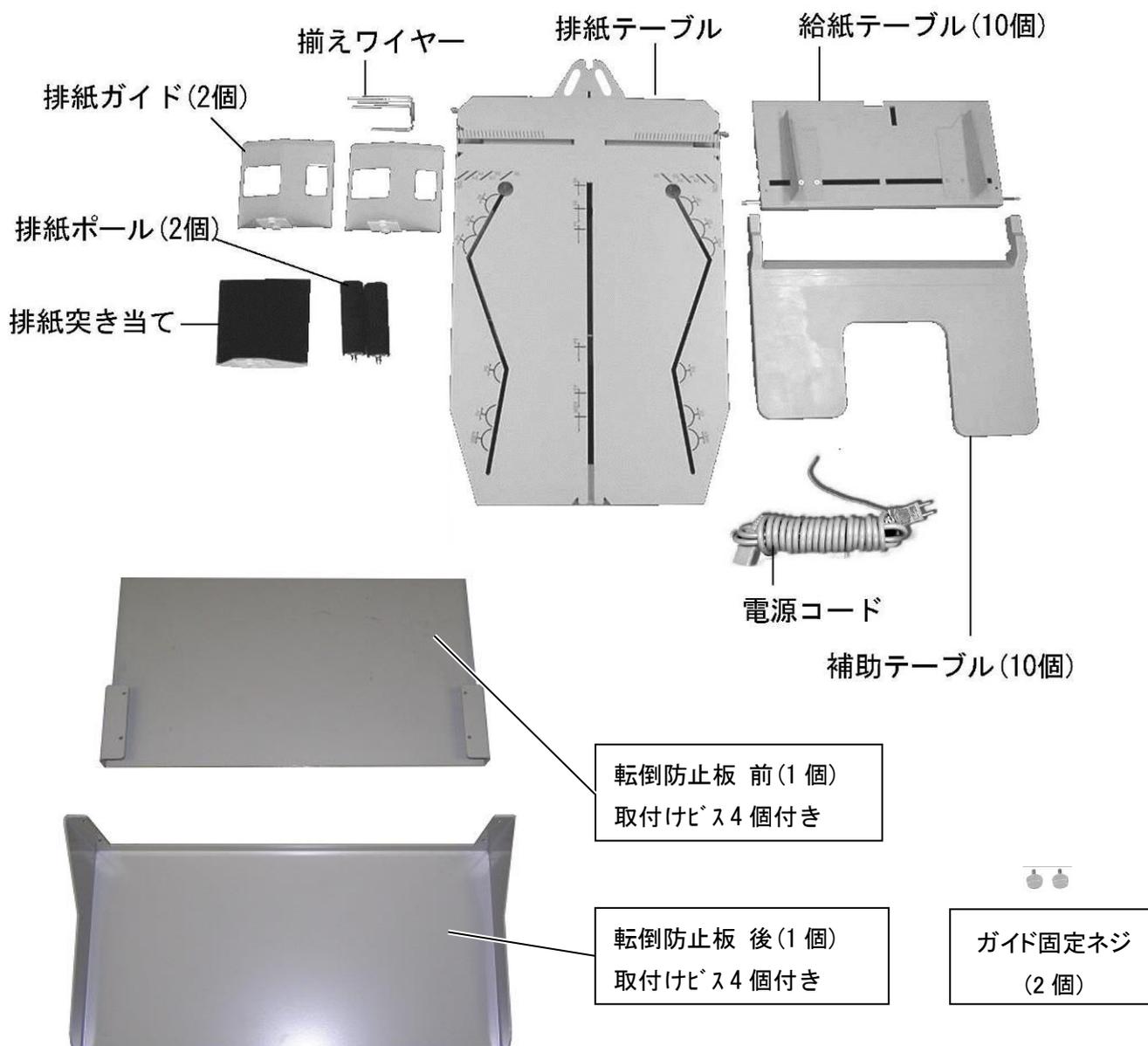
- ・ 高温・低温の場所  
室温は5～35℃の範囲でご使用ください。
- ・ 水などが飛び散り、漏電を起こす危険性のある場所
- ・ 暖房器具に近い場所
- ・ 風が直接当たる場所
- ・ 換気の悪い場所、狭い場所や暗い場所
- ・ 窓際等の直接光が当たる場所に設置すると光センサーが誤動作する事があるので、設置場所を移動するか、太陽をさえぎる厚手のカーテン等で光を遮断するようにしてください。



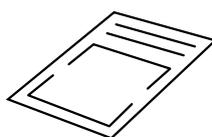
# 1. 3 付属品の種類・数量の確認

開梱したら、付属品の確認をしてください。

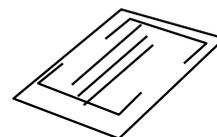
万一不足していたらすぐに販売店もしくはお客様相談室に連絡してください。



保証書



取扱説明書

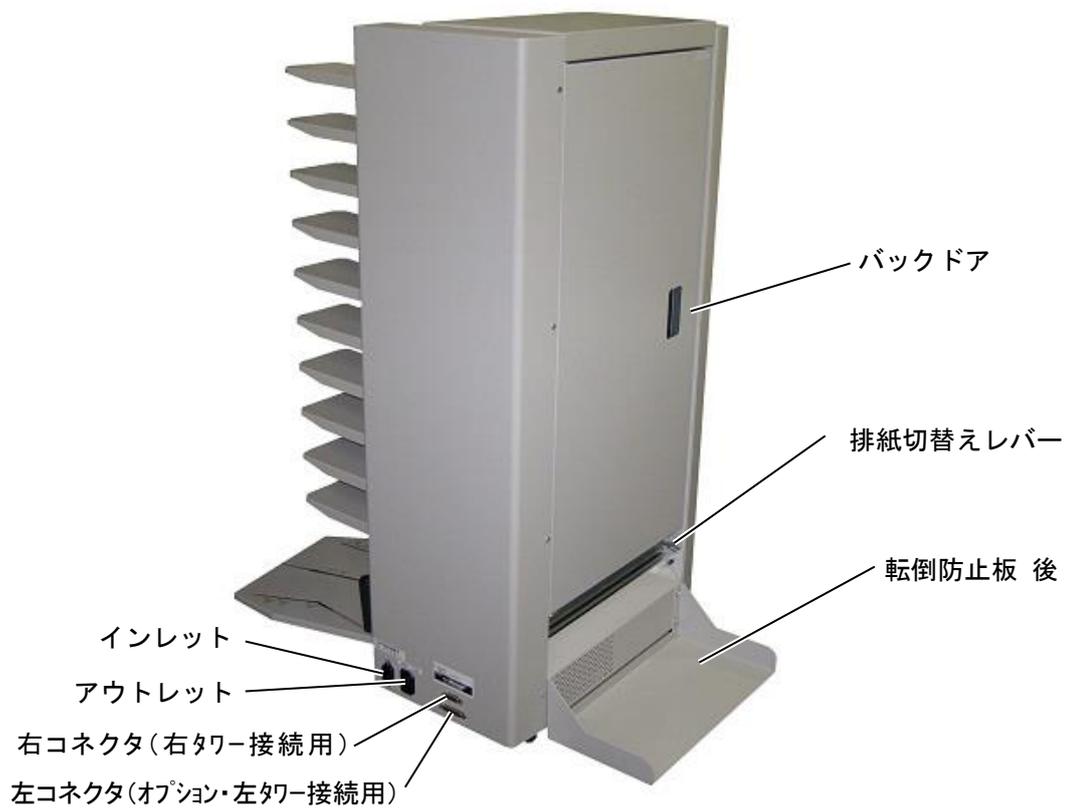


簡易マニュアル

## 2. 製品各部の名称

### 2. 1 外観





給紙シャフト



セパレーター-圧  
切替えレバー

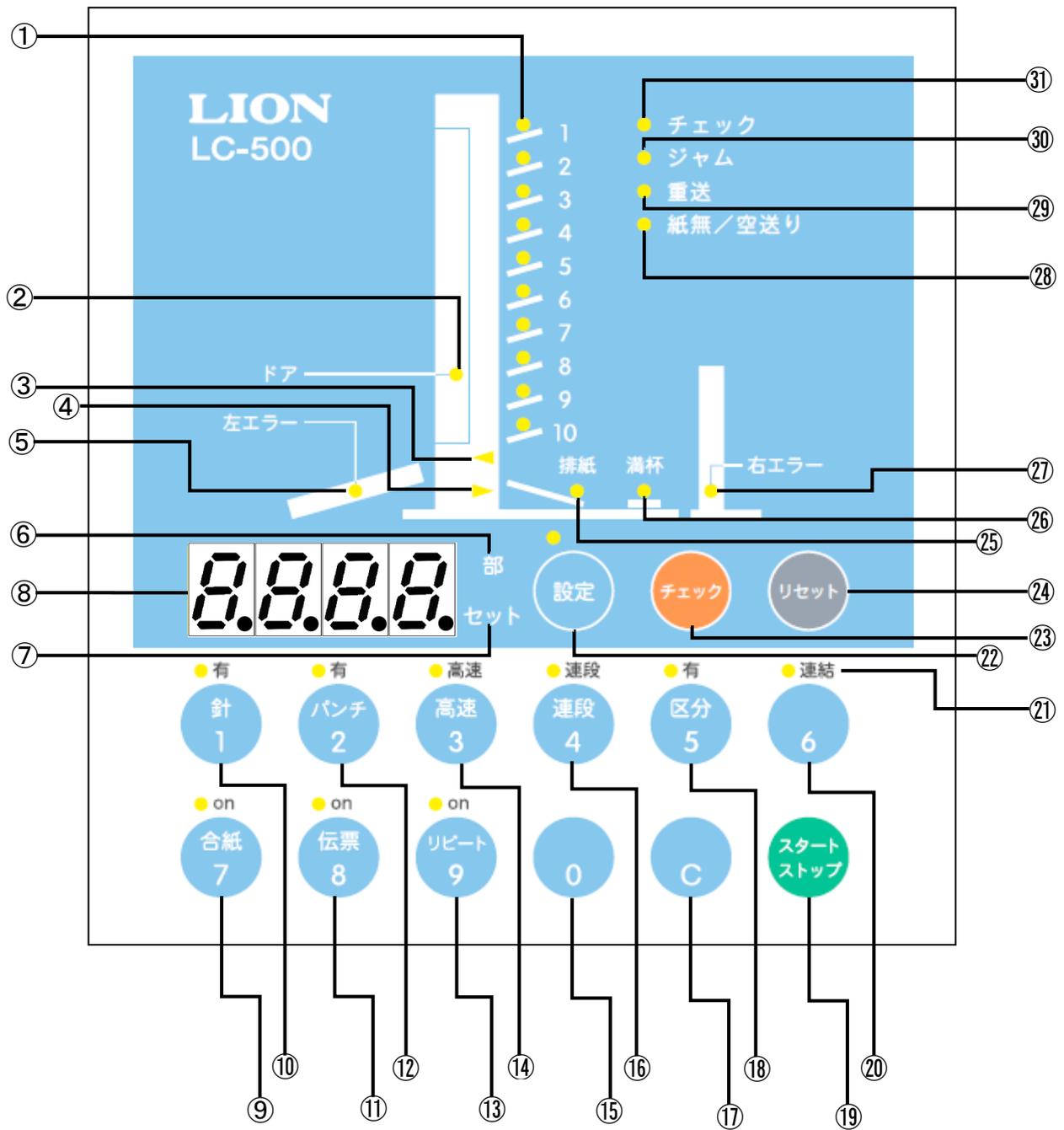
給紙ローラー



セパレーター

紙検ワイヤー

## 2. 2 操作パネル部



番号	名称	働 き
①	段ランプ(緑)	1～10 段のチェック／紙無／空送りの状態を表示
	段ランプ(赤)	1～10 段の紙詰まり／重送の状態表示
②	ドアランプ	バックドアが開いている時に点灯
③		緑点灯時 用紙の流れる方向を表示
④		
⑤	左エラーランプ	左側オプション類に異常が発生した時に点灯
⑥⑦	部・セット	合紙モード、伝票モード表示ランプ
⑧	カウンター	丁合数を表示 エラー発生時には[Err]と表示
⑨	「合紙／7」キー	緑点灯時 合紙モード 数字「7」はカウンター入力
⑩	「針／1」キー	緑点灯時 針打ち加工「有」、消灯時「無」 数字「1」はカウンター入力
⑪	「伝票／8」キー	緑点灯時 伝票モード 数字「8」はカウンター入力
⑫	「パンチ／2」キー	緑点灯時 パンチ加工「有」、消灯時「無」 数字「2」はカウンター入力
⑬	「リピート／9」キー	緑点灯時 設定部数丁合後に区分けする動作を繰返し行う 数字「9」はカウンター入力
⑭	「高速／3」キー	緑点灯時 高速丁合、消灯時低速丁合 数字「3」はカウンター入力
⑮	「0」キー	カウンター入力(LED は点灯しません)
⑯	「連段／4」キー	緑点灯時 連段、消灯時全段 数字「4」はカウンター入力
⑰	「C」(クリア)キー	カウンター表示をクリアする 「設定」点灯を消灯させる事も可能
⑱	「区分／5」キー	緑点灯時 区分け「有」、消灯時「無」 数字「5」はカウンター入力 「設定」キーを押して設定ランプ点灯時、3秒以上押し続けると排紙テーブルが1回稼働する
⑲	「スタート/ストップ」キー	丁合動作の開始または停止を行う
⑳	「6」キー	カウンター入力(LED は点灯しません)
㉑	連結ランプ	オプション連結状態の時に点灯
㉒	「設定」キー	緑点灯時 各種機能設定可能状態 数字キー上の機能を使う時は、最初に「設定」キーを押して 緑点灯させてから該当キーを操作 (該当キーを押すと即消灯、押さないと1分後に消灯)
㉓	「チェック」キー	試し送りをするキー(短く押す) 使用する段、セットされている紙の厚さを記憶させる
㉔	「リセット」キー	発生したエラーを解除(短く押す) 待機状態で3秒以上押し続けると給紙テーブルが下がり、 メインモーターが空回転する
㉕	排紙詰まりランプ	排紙詰まり時に点灯
㉖	排紙満杯ランプ	排紙満杯時に点灯
㉗	右エラーランプ	右側コレータに異常が発生した時に点灯
㉘	紙無／空送りランプ	紙無し／空送り発生時緑点滅 紙無し:その段が遅い点滅 空送り:その段が速い点滅
㉙	重送ランプ	重送発生時に赤点滅
㉚	ジャム(紙詰まり)ランプ	ジャム(紙詰まり)発生時に赤点灯
㉛	チェックランプ	チェックが完了していると緑点灯

## 3. 特に注意していただきたいこと

### 3. 1 用語の定義

#### 3. 1. 1 マーク解説

##### 注意!

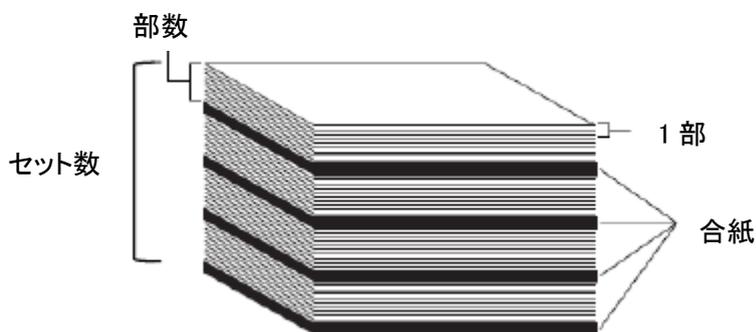
注意していただきたいことです。

##### ポイント!

知っているると便利なことです。

#### 3. 1. 2 用語解説

名称	解説
紙詰まり(ジャム)	用紙が機械内部で詰まること
重送	2枚以上重ねて給紙すること
空送り(スリップ)	用紙が送り込まれないこと
さばく	用紙同士がはりついている状態を空気を入れてはがすこと



### 3. 2 特徴および使用目的

- ・印刷やコピーした書類を自動的にページ順に組み合わせることができます。
- ・連段丁合が可能です。連段とは、2段を1組として5段式のように使用するものです。用紙積載量が多い場合に利用すると便利です。
- ・給紙テーブルは電動で自動昇降するので、スピーディーなセッティングができます。

### 3. 3 使用しないとき

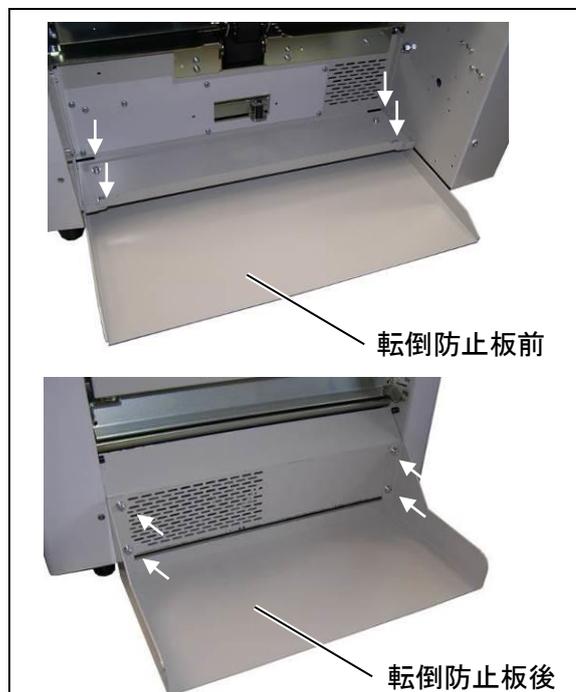
- ・電源プラグをコンセントからはずしてください。

## 4. 使用前の準備

### 4. 1 付属品の取付け

#### 1. 転倒防止板前、転倒防止板後 の取付け

- (1) 転倒防止板前を本体の表面下に差し込みます。
- (2) 本体と転倒防止板前の穴位置を合わせて、付属のネジ M4×8(4本)で固定します。
- (3) 転倒防止板後を本体背面(バックドア)下部に置きます。
- (4) 本体背面(バックドア)下部と転倒防止板後の穴位置を合わせて、付属のネジ M5×10(4本)で固定します。

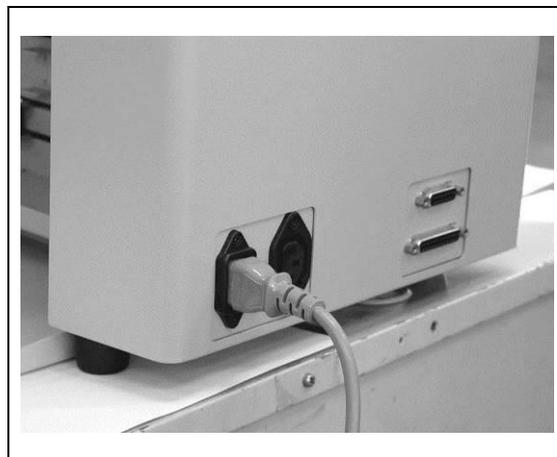


#### 2. 電源コードの接続

- (1) 電源コードを反操作側にあるインレットに差し込みます。
- (2) コンセントにプラグを差し込みます。

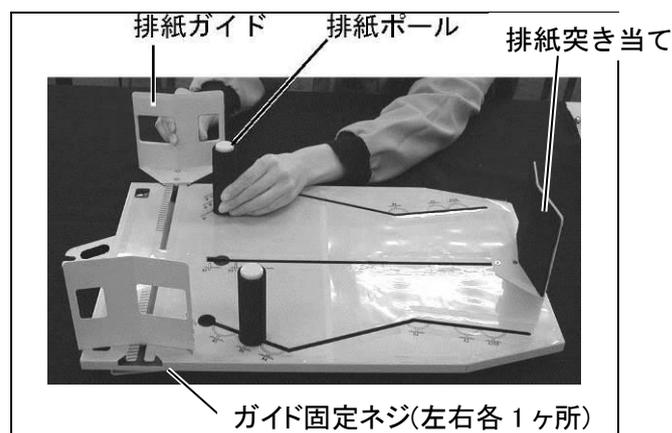
#### **注意!**

延長コードやタコ足配線は誤動作の原因になり易いので、極力避けてください。



#### 3. 排紙テーブルの組立

- (1) 排紙テーブルに排紙ガイド(2個)を差し込みます。向きを間違えないよう注意してください。
- (2) 排紙ポール(2個)を穴に差し込み、溝に沿って移動させて取付けます。
- (3) 排紙ガイドを差し込んだ後、ガイド固定ネジを取り付けます。(左右各1ヶ所)
- (4) 排紙突き当てを取り付けます。



#### 4. 排紙テーブルのセット

- (1) 排紙テーブル奥の凹部を本体の区分けコロに差し込みながら、前足ゴム台のフック(2カ所)に排紙テーブルのフックを差し込みます。

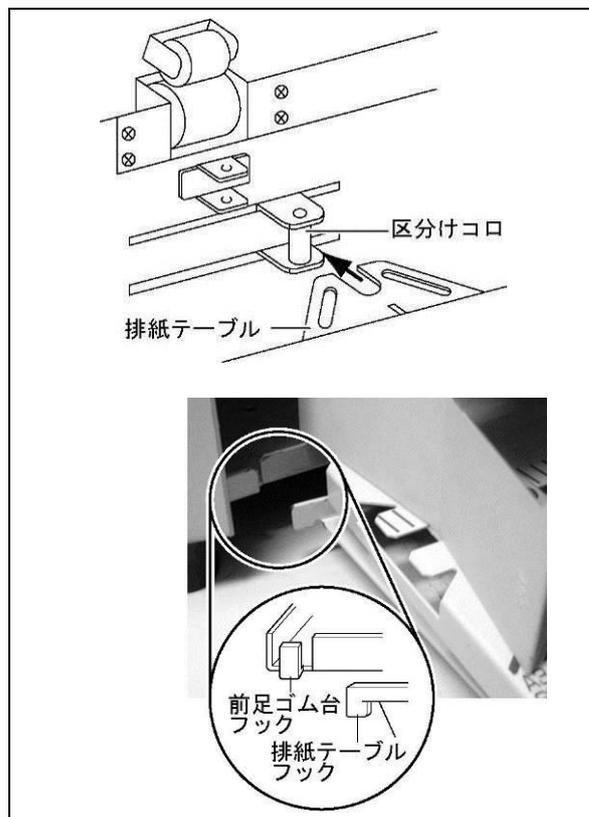
排紙テーブルの凹部をコロに差し込んだ後、排紙テーブルを左右どちらかに傾け(区分けコロが右にある場合は右に、左にある場合は左に)、排紙テーブルフックを前足ゴム台フックの隙間に差し込みます。このとき、左右とも確実に差し込まれていることを確認してください。

#### **注意!**

排紙テーブルの凹部が区分けコロに正しくセットされていないとチェックまたはスタートキーを押したとき、カウンタ部に「Lock」が表示されます。このまま続けて機械を動作させると、区分けモータが故障するおそれがあります。この場合一度電源 OFFし、排紙テーブルを本体より外した状態で機械を通常動作させ、区分けコロが左右に移動して「Lock」表示が出ないことを確認してもう一度取扱説明書に従って正しくセットし直してください。

(排紙テーブルを外しても区分けコロが左右に動かない場合は販売店に連絡してください)

「設定」→「区分」キー3秒押しで区分けコロが1回動作します。



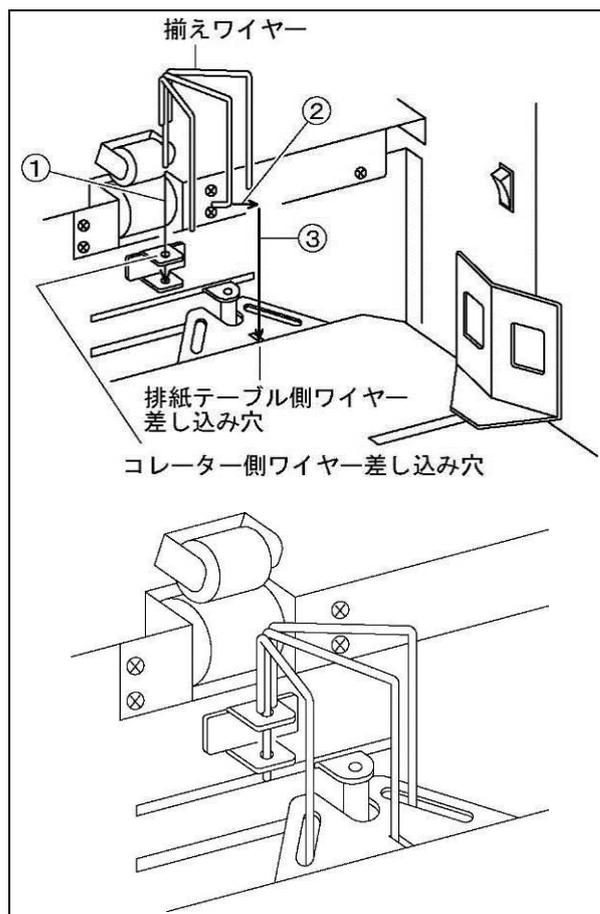
- (2) 揃えワイヤーを取付けます。

- ① 排紙テーブルをコレーターに取付けた後、揃えワイヤーの後ろ側をコレーター側ワイヤー差し込み穴に差し込みます。
- ② 揃えワイヤーの先端の曲がっている部分を指で摘んで手前に引き寄せ、排紙テーブル側ワイヤー差し込み穴に合わせます。
- ③ 先端の曲がっている部分をそのまま排紙テーブル側ワイヤー差し込み穴に差し込みます。

#### **注意!**

・排紙テーブルの取付けは確実に行ってください。不完全な取付けは、機械のロックまたは排紙ジャムの原因となります。

・稼働部に手を挟まれないよう注意してください。



## ⚠ 注意



給紙テーブル・補助テーブル・排紙テーブルが正しくセットされているか、確認してください。外れかけの原因になります。また、給紙テーブル・補助テーブルの取付け、取外しの際は、機械の転倒に十分注意してください。

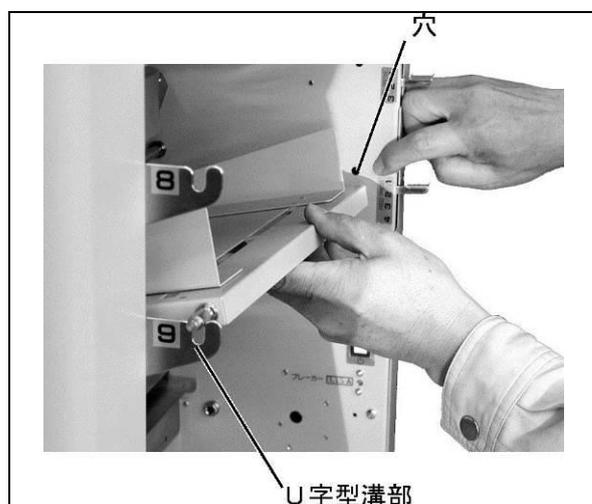
## 5. 給紙テーブルのセット

- (1) テーブルアップレバーが下がっていることを確認してください。下がっていない場合は、電源をONして「リセット」キーを3秒以上押し、レバーを下げてください。

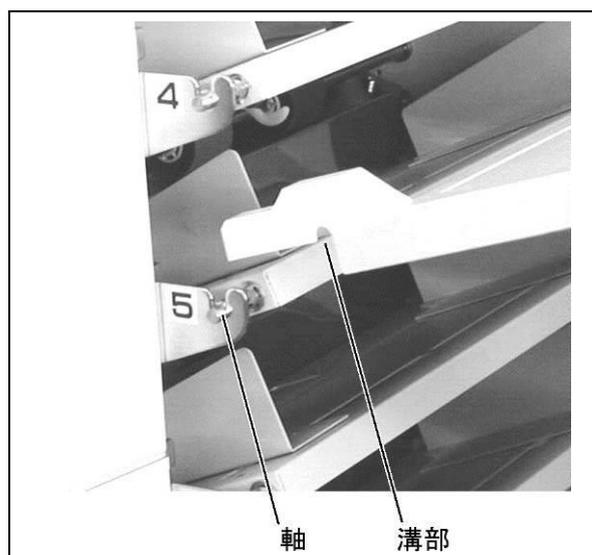
通常、テーブルアップレバーは給紙テーブルの下側に位置し、このレバーが上昇することによって給紙テーブルが押し上げられます。したがって、レバーが給紙テーブルの上にあると給紙テーブルが上昇しないため、給紙することができません。



- (2) 反操作側にある穴に給紙テーブルの右側の軸を差し込み、左側をU字型溝の板金に載せます。



- (3) 給紙テーブルの左右の軸に補助テーブルの溝部をはめ込みます。



## 4. 2 給紙圧の設定

通常（一般紙の場合）は、給紙圧切替えレバーを「2」の位置にセットします。

第1段と第10段は4段切替え

第2段～第9段は3段切替え

重送が発生した時は「1」（弱）にします。

空送りが発生した時は「3」（強）にします。



## 4. 3 セパレーター圧の設定

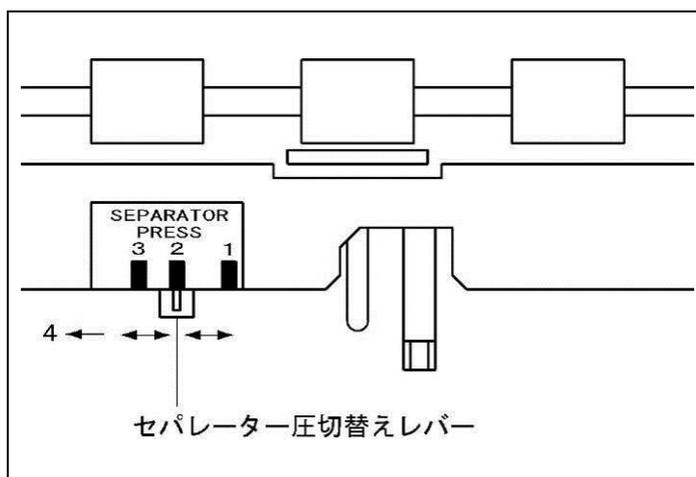
通常（一般紙の場合）は、セパレーター圧切替えレバーを「2」の位置にセットします。

セパレーター圧を切替える時は、給紙テーブルを外してください。

空送りが発生した時は「1」（弱）にします。

重送が発生した時は「3」（強）にします。

※セパレーター圧の表示は「1」「2」「3」となっていますが、特殊なケースの場合に備え、「3」の左隣に「4」が内蔵されています。重送が多発して「3」でも重送が防げない時に使用してください。



## 5. 使用方法

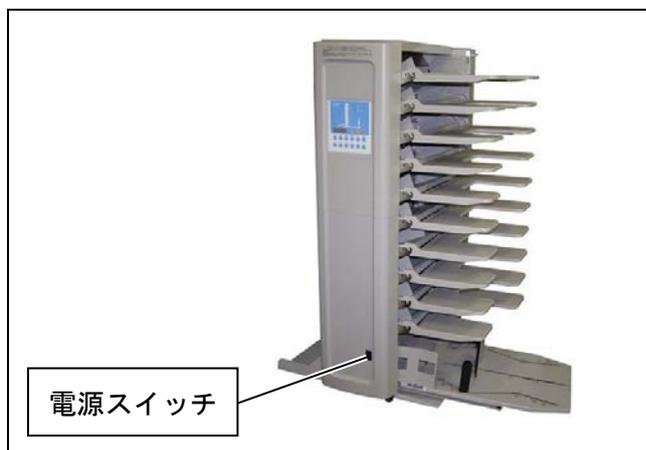
### 5. 1 操作の手順と方法

#### 5. 1. 1 電源ON

電源スイッチを入れます。

##### **注意!**

電源をONする前に必ず給紙テーブル・補助テーブル・排紙テーブルが確実にセットされている事を確認してください。



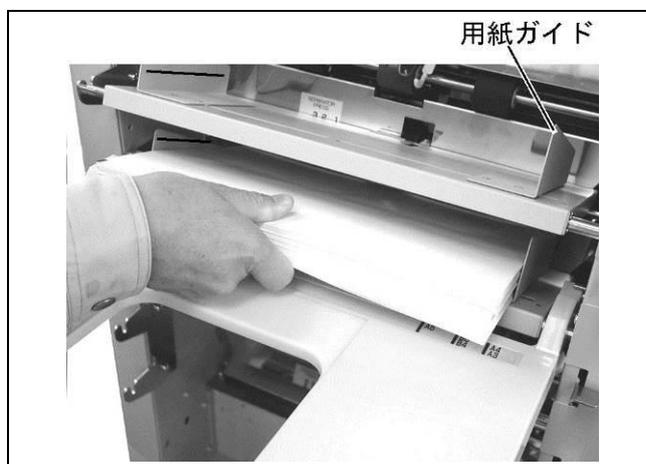
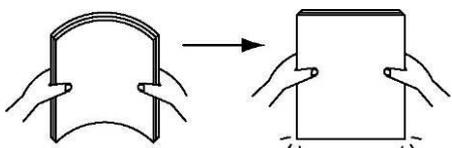
#### 5. 1. 2 用紙のセット

(1) 使用する用紙を給紙テーブルに載せ、用紙ガイドを用紙に密着させてください。

##### **ポイント!**

###### 【用紙のさばき方】

- ①用紙の両端をつまみます。
- ②用紙を曲げて空気を入れます。  
(軽く力をゆるめ、曲げてから再度用紙をつまむ)
- ③上下に用紙を揃えます。

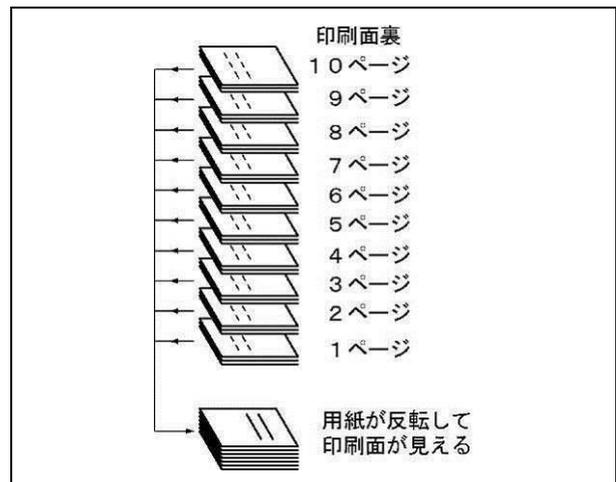


##### **注意!**

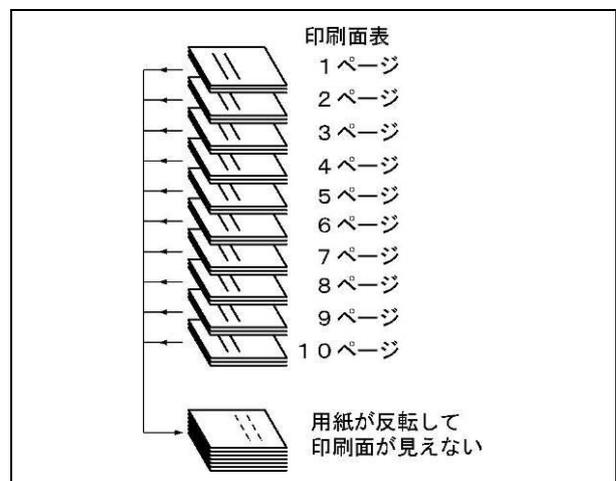
- ・用紙積載量は目安として、用紙ガイド側面のライン以下です。ただし、印刷した用紙は膨らむため積みすぎないように注意してください。
- ・用紙をよくさばいてください。さばかないまま使用すると重送等の原因になります。
- ・用紙は揃えて先端が軽く突き当たるまで差し込んでください。不揃いのまま使用すると空送りや重送の原因になります。
- ・印刷物のインクの乾きが不十分のまま使用すると機械が汚れるだけでなく、用紙表面のインクにより給紙ゴムローラー・用紙セパレーターが汚れ、空送りや重送の原因になります。
- ・コピー機等で複写した用紙には、静電気が帯電しているため、給紙不良や排紙不良が発生しやすくなります。また、コピーした用紙は先端がカールしやすいのでカール矯正後セットし直すか、用紙を反転してセットしてください。
- ・ノンカーボン紙（一般的紙質）を丁合する場合、発色面（印刷面）を下側にしてセットしてください。発色面を上に乗ると給紙ゴムローラーのコスレ跡が若干出る事があります。
- ・排紙された用紙の表／裏は、排紙方向（単独／連結）により変わります。特にオプションを使用する場合は注意してください。

(2) 用紙を給紙テーブルに載せる時の順序について

- ① 印刷面を裏にして載せる場合  
下から順に上の給紙テーブルへページを積んでください。  
この場合、1 ページ目は一番上になって丁合されます。



- ② 印刷面を表にして載せる場合  
上から順に給紙テーブルへページ順にセットしてください。用紙が裏返し状態で排紙テーブルに排出されます。  
この場合、1 ページ目は一番下になって丁合されます。



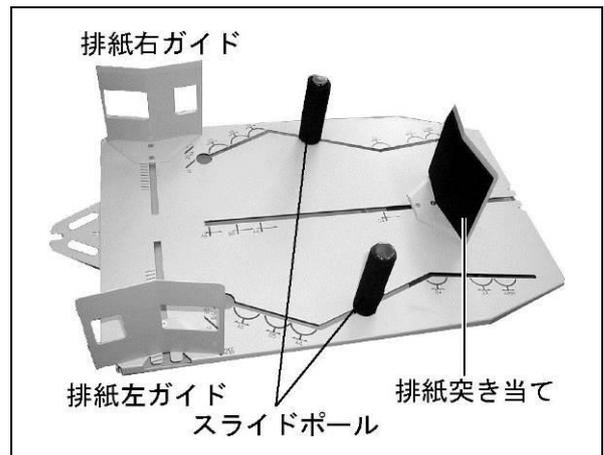
**ポイント!**

ページ数が少ない (10 段に満たない) 時の用紙の積み方

- ・用紙を給紙テーブルに載せる時は、下の段 (10 段目) から順に積んでください。  
排紙の乱れが防げます。

## 5. 1. 3 排紙ガイド・スライドポールのセット

排紙右・左ガイド・スライドポール(2本)・排紙突き当てをそれぞれ用紙サイズに合わせてセットします。排紙時に用紙がガイド類に引っ掛かったり、揃わない場合は各スライド部を前後左右に微調整してください。



ストッププレートつまみを締め排紙突き当てを固定します。



### 注意!

- ・ハガキ・システム手帳サイズの内紙を使用する場合は、棒積み排紙のみとなります。
- ・排紙の揃え具合はコレクターの処理速度によって変化します。速度を高速にすると用紙がポール・ガイドに突き当たった後の跳ね返りが大きくなり、ズレも大きくなります。また、用紙が反っている場合は、高速の方がめくれやすくなり、揃えが悪くなります。しかし、諸条件により、いちがいに低速の方が良く揃うとはいい切れないので様子を見ながら切替えてください。
- 用紙の種類によってコシの強いもの、弱いものがありこれが揃えに影響します。

## ポイント!

### ・排紙の揃えが悪い場合

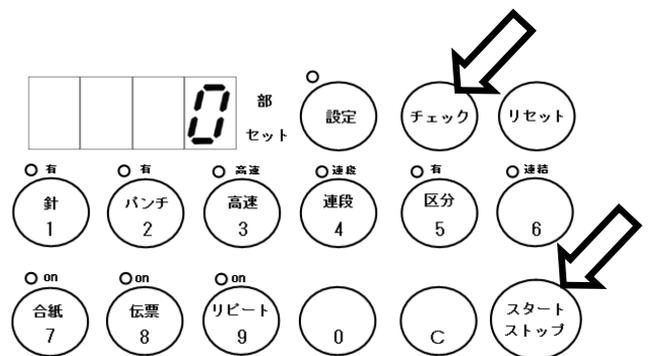
→排紙テーブルに表示されているポール・ガイドの位置ゲージを目安にしてポール・ガイドを左方向に移動（ポール・ガイドと用紙の隙間が狭くなる方向）させます。また、排紙左右ガイドも位置ゲージを目安にして左右均一に内側（ガイド・ポールと用紙の隙間が狭くなる方向）に移動させます。位置調整する場合は、一度に大きく移動させずに少しずつにし、排紙の揃え具合を見ながら行ってください。

### ・排紙部でジャムが発生する場合

→排紙テーブルに表示されているポール・ガイドの位置ゲージを目安にしてポール・ガイドを右方向に移動（ポール・ガイドと用紙の隙間が広くなる方向）させます。また、排紙左右ガイドも位置ゲージを目安にして左右均一に外側（ガイド・ポールと用紙の隙間が広くなる方向）に移動させます。位置調整する場合は、一度に大きく移動させずに少しずつにし、排紙の揃え具合を見ながら行ってください。

## 5. 1. 4 丁合

- (1) 「チェック」キーを押し、試し送りをします。  
給紙テーブルが自動的に上昇し、各段にセットされた用紙がそれぞれ1枚（1丁合分）給紙されます。  
用紙の向き、順番、給紙ミスがないか確認してください。  
（丁合数にカウントされます）



- (2) チェックして問題がなければ「スタート ストップ」キーを押して丁合作業を開始します。丁合を停止したい場合も「スタート ストップ」キーを押します。

## 注意!

- ・給紙途中で電源を切らないでください。
- ・丁合中に給紙トラブルが発生した場合は、最後に排紙された1組は落丁しているのので、不足のページを加えてください。なお、落丁した1組はカウントされません。

## ポイント!

- ・給紙テーブルに積んだ用紙の最後の1枚が送られずに残る場合には、下に数枚白紙を積んでください。
- ・排紙された用紙の揃えが悪いときは、「5. 1. 3 排紙ガイド・スライドポールのセット」を参考に調節してください。

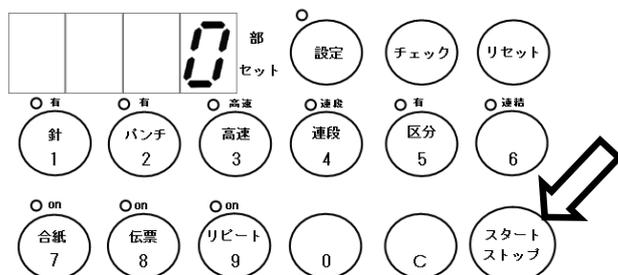
## 5. 2 カウンター

### 5. 2. 1 加算モード

通常は加算表示です。そのまま「スタート ストップ」キーを押すと丁合を開始し、用紙が詰まらずに排出されたら停止します。

カウンターには処理された丁合数が表示され、〔9999〕になると自動的に停止します。

継続して丁合をする場合は「スタート ストップ」キーを押してください。カウンター表示は〔0〕となり、再び加算表示をします。



### 5. 2. 2 減算モード

丁合数を数字キーで入力します。

「数字」キーを押すと自動的に減算モードランプが点灯します。



カウンターが〔0〕となった時停止します。

動作中に「スタートストップ」キーを押すと停止し、カウンターに残数を表示します。



## 5. 3 速度切替え

丁合する用紙に合わせて速度を切替える事ができます。

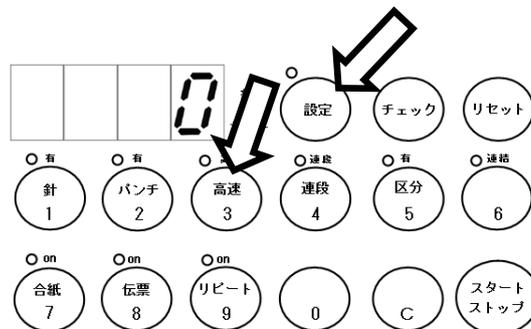
- (1) 「設定」キーを押して設定モードに切替えます。(設定ランプ点灯)
- (2) 「高速/3」キーを押して速度を切替えます。「設定」→「高速」キーを押すたびに速度が高速⇔低速に切替わります。(高速：ランプ点灯，低速：ランプ消灯)

### 注意！

- 速度を変えた場合は必ず「チェック」キーを押してから「スタートストップ」キーを押してください。用紙のチェックを行わないと再スタートできません。

### ポイント！

- 速度設定は電源をOFFした時の速度を機械が記憶していますので、次回使用時は前回使用した時の速度設定で開始します。
- 排紙の揃えが悪い時は、速度を「低速」にすると排紙揃えがよくなります。



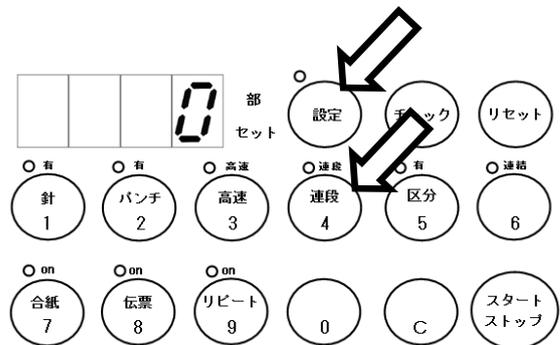
## 5. 4 全段／連段切替え

少ページ、多数部の丁合作業では、2つの段を1つの段として扱う連段モードが便利です。

1台の機械で5ページまでの冊子を扱うことができます。  
電源投入時は「全段」になっています。

- (1) 「設定」キーを押して設定モードに切替えます。  
(設定ランプ点灯)

- (2) 「連段／4」キーを押して切替えます。  
「設定」→「連段」キーを押すたびに  
全段⇄連段が切替わります。  
(連段：ランプ点灯，全段：ランプ消灯)

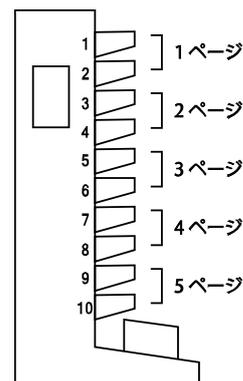


### ポイント！

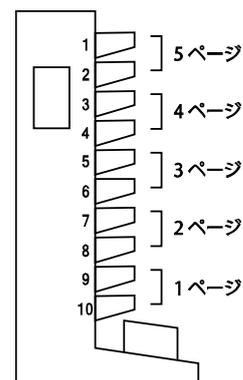
- ・全段時の用紙積載量は350枚／ページ  
連段時の用紙積載量は700枚／ページ  
(350枚×2段)です。  
(A4上質紙64g/m<sup>2</sup>使用時)

### (3) 用紙のセット方法

- ・「連段」モードで印刷面を表にして載せる場合  
奇数と偶数の段すなわち1と2の段、3と4の段、  
5と6の段、7と8の段、9と10の段に同じペー  
ジの用紙を分けて積みます。  
奇数の給紙テーブルから給紙され、用紙がなくなると  
自動的に偶数の給紙テーブルから給紙されます。



- ・「連段」モードで印刷面を裏にして載せる場合



## 5. 5 区分け 有／無

用途に合わせて区分けの有／無を切替える事ができます。

有：1セットずつ左右に移動して積まれます。

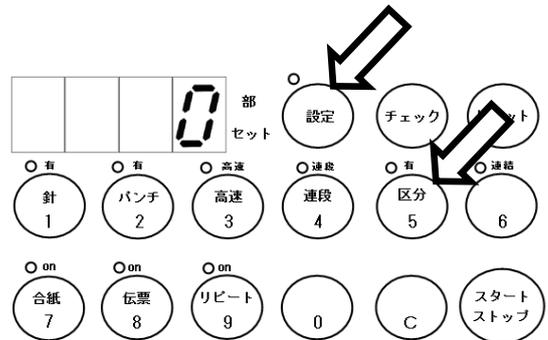
(ランプ点灯)

無：紙を移動させず、棒積みにします。

- (1) 「設定」キーを押して設定モードに切替えます。  
(設定ランプ点灯)

- (2) 「区分／5」キーを押して区分けの有／無を切替えます。

「設定」→「区分」キーを押すたびに区分けの有  
⇄無が切替わります。



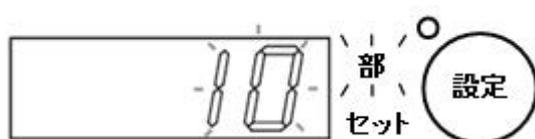
電源投入時は、最後に使用した設定の状態になっています。

## 5. 6 合紙モード

合紙機能は、設定部数毎に最上段にセットされた合紙を入れるモードです。同じ冊子を複数の部署に配布する場合に便利です。

- (1) 「設定」キーを押して設定モードに切替えます。  
(設定ランプ点灯)
- (2) 「合紙／7」キーを3秒間押し続けると、カウンターが点滅するので部数を入力します。

<例>  
部数として「10」を入力

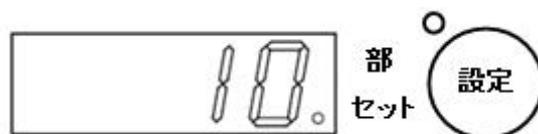


- (3) 「設定」キーを押すと、カウンター横の表示が「部」→「セット」に切替わるので、セット数を入力します。

<例>  
セット数として「5」を入力

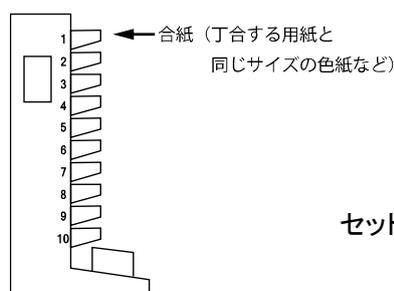


- (4) 「設定」キーを押すと、カウンターが点灯状態に戻り、先に入力した部数が表示されます。

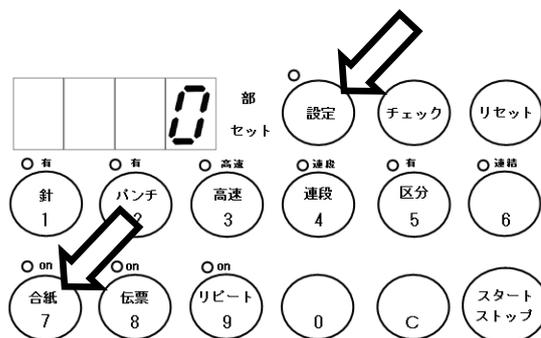
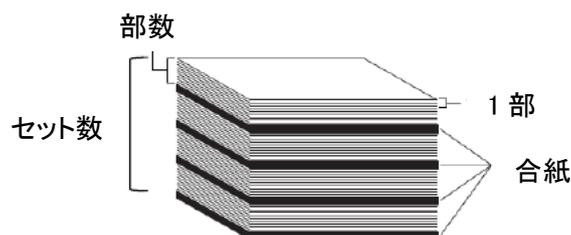


### (5) 用紙のセット方法

合紙は、使用する段の一番上の段に積みます。  
例えば、上の段から続けて10段を使用する場合は1段目の段に合紙を積みます。



### [丁合と合紙の関係]



### ポイント!

- ・セット数に〔 0 〕を入力すると、用紙がなくなるまで合紙動作を続けます。
- ・合紙のセット数を確認するには、合紙モードで「設定」キーを押し続ける事によりセット数を表示する事ができます。
- ・合紙データを複数記憶する事もできます。詳細は「5. 8 合紙／伝票データの記憶」を参照してください。

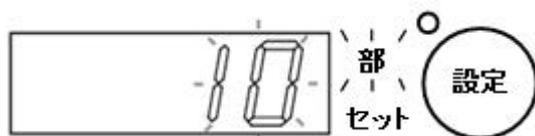
## 5. 7 伝票モード

伝票機能は、設定部数毎に最上段／最下段にセットされた表紙／裏表紙を入れるモードです。伝票を作成する場合に便利です。  
 単独時のみ使用できます。

- (1) 「設定」キーを押して設定モードに切替えます。  
 (設定ランプ点灯)
- (2) 「伝票／8」キーを3秒間押し続けると、カウンターが点滅するので綴り数(部数)を入力します。

<例>

部数として「10」を入力



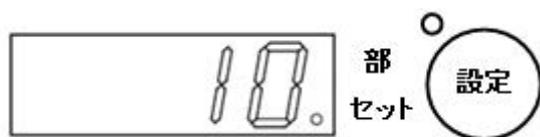
- (3) 「設定」キーを押すと、カウンター横の表示が「部」→「セット」に切替わるので、作成する伝票の冊数(セット数)を入力します。

<例>

セット数として「5」を入力



- (4) 「設定」キーを押すと、カウンターが点灯状態に戻り、先に入力した部数が表示されます。

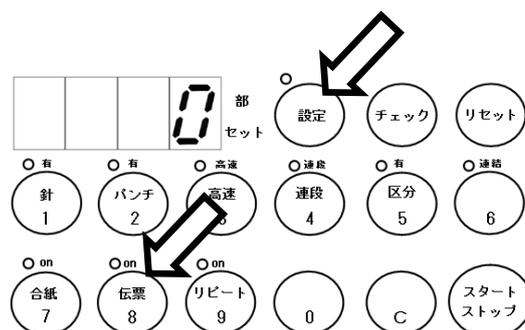


- (5) 用紙のセット方法

必ず印刷面を上にして積んでください。

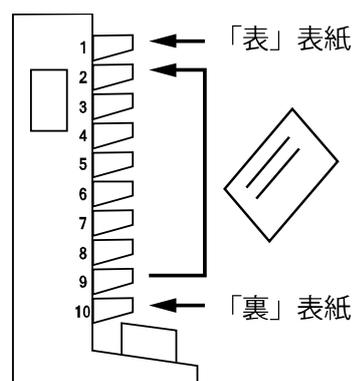
例えば、上の段から続けて10段を使用する場合は、1段目の段に「表」表紙、10段目の段に「裏」表紙を積みます。

使用段が10段以下の場合、最下段に「裏」表紙を積み、使用段の最上段に「表」表紙を積みます。使用段が10段以下の場合、使用段数の最上段を1番目と自動的に認識します。



### ポイント!

- ・冊数(セット数)に〔 0 〕を入力すると、用紙がなくなるまで伝票動作を続けます。
- ・伝票の冊数(セット数)を確認するには、伝票モードで「設定」キーを押し続ける事により冊数(セット数)を表示する事ができます。
- ・伝票データを複数記憶する事もできます。詳細は「5. 8合紙／伝票データの記憶」を参照してください。



## 5. 8 合紙／伝票データの記憶

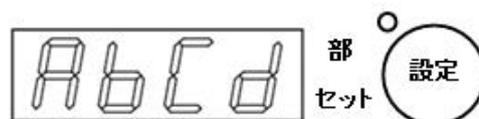
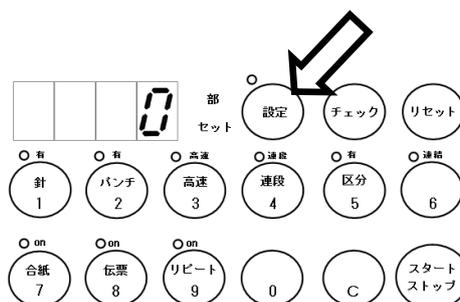
合紙／伝票メモリは、最大4項まで記憶する事ができます。

(1) 「設定」キーを押して設定モードに切替えます。(設定ランプ点灯)

(2) 「設定」キーを3秒間押し続けると、カウンターにメモリ番号〔A b C d〕が表示されます。

- ・点滅しているメモリは空
- ・点灯しているメモリは既に使用

合紙／伝票メモリの内容を直接確認する事はできません。メモリの中身は、「5. 9合紙／伝票データの呼出し」を実行してから確認してください。



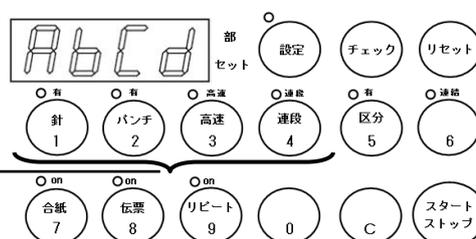
(3) メモリA～Dに相当するキーを3秒以上押し続け、記憶させます。

メモリA～Dはそれぞれ

- メモリA : 「1」キー
- メモリB : 「2」キー
- メモリC : 「3」キー
- メモリD : 「4」キー

に対応しています。

メモリへの記憶をキャンセルする場合は「リセット」キーを押します。



## 5. 9 合紙／伝票データの呼出し

(1) 「設定」キーを押して設定モードに切替えます。(設定ランプ点灯)

(2) 「設定」キーを3秒間押し続けると、カウンターにメモリ番号〔A b C d〕が表示されます。

- ・点滅しているメモリは空
- ・点灯しているメモリは既に使用

### 注意!

合紙/伝票メモリの内容を直接確認するには、メモリの中身を一度呼出す必要があります。

「5. 6 合紙モード」「5. 7 伝票モード」参照

(3) メモリA～Dに相当するキーを押して設定値を呼出します。

メモリA～Dはそれぞれ

- メモリA : 「1」キー
- メモリB : 「2」キー
- メモリC : 「3」キー
- メモリD : 「4」キー

に対応しています。

メモリの呼出しをキャンセルする場合は「リセット」キーを押します。

## 5. 10 リポート機能

リポート機能は、設定部数毎に区分け動作を入れるモードです。

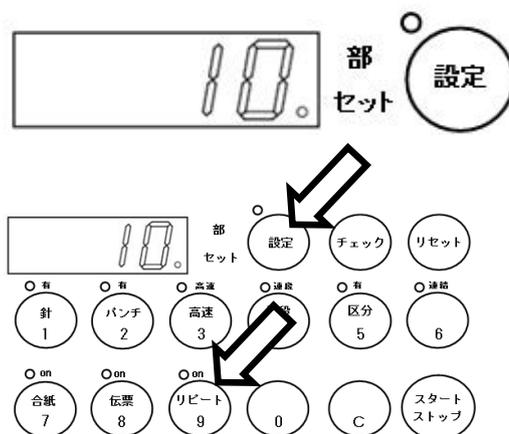
伝票の綴り部分のみを作成する場合に便利です。

- (1) 区分けを入れる部数を設定します。

<例>

部数として「10」を入力

- (2) 「設定」キーを押して設定モードに切替えます。(設定ランプ点灯)
- (3) 「リポート／9」キーを押してリポートランプを点灯させます。



## 5. 1 1 単独／連結の切替え

オプションのステープラパンチ（別売）を使用する際は、単独／連結の切替えを行います。

### 注意！

オプションのステープラパンチを接続せず  
排紙切替え板を「連結」に切替えて使用  
するとエラーとなります。ご注意ください。



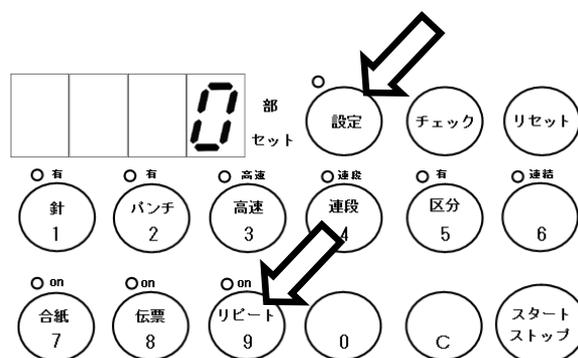
排紙切替え板を切替える。  
単独時：丁合機単独で使用  
連結時：オプションのステープラ  
パンチ等と連結で使用



## 5. 1 2 トータルカウンタの表示

ご購入時からのトータル使用枚数を表記したい場合は  
以下の操作で表示することが出来ます。

- (1) 「設定」キーを押して設定モードに切替えます。  
(設定ランプ点灯)
- (2) 「リポート／9」キーを長押しします。  
カウンターに表示された数に 1000 を掛けた枚数  
がトータルカウンタ枚数となります。  
※1000 枚に満たない場合は、〔0〕と表示されます。  
通常のカウンタ表示に戻す場合は、
- (3) 「リセット」キーを押します。



## 6. 保守・点検・消耗品

### 6. 1 点検・お手入れ時の注意事項

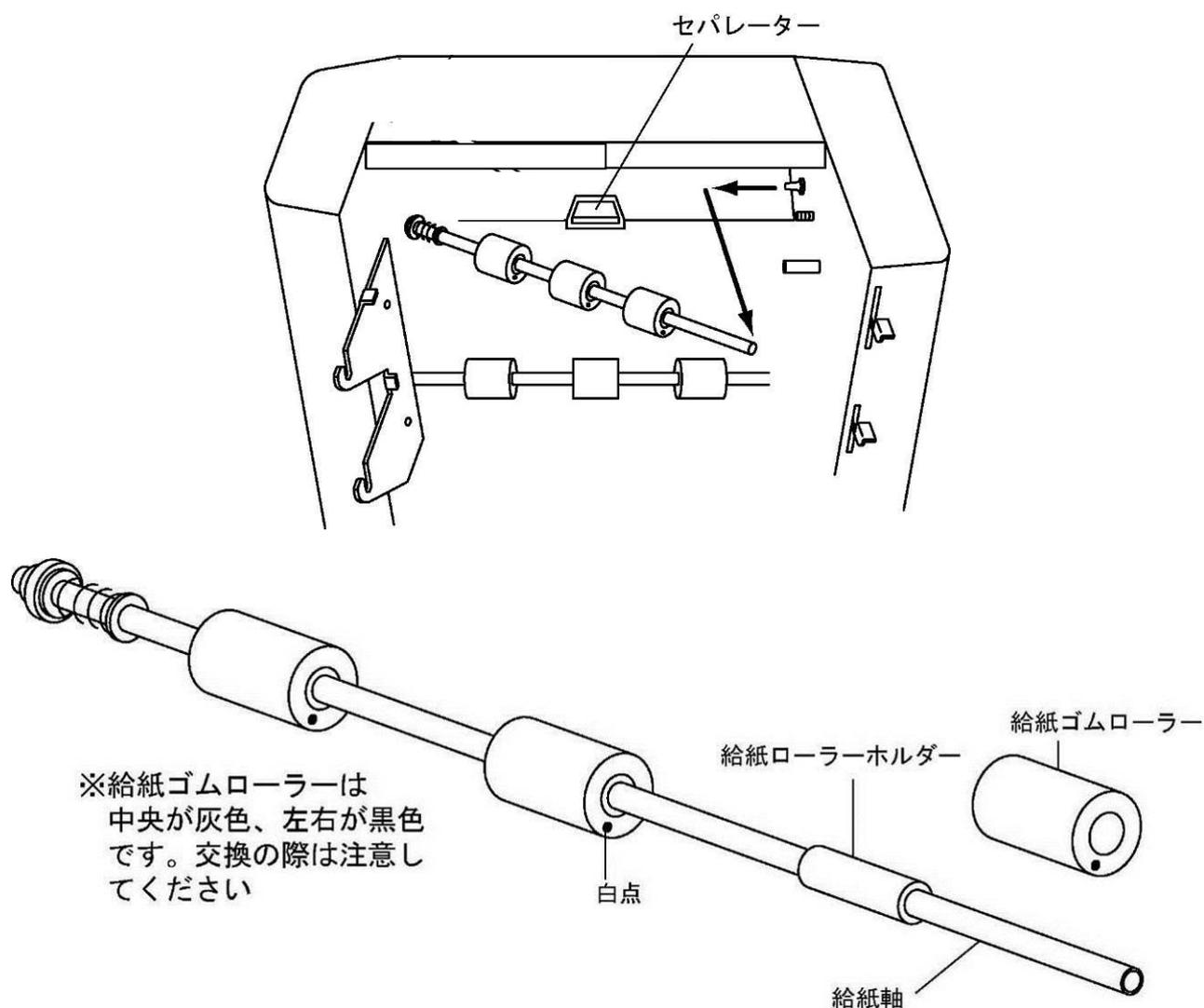
#### ⚠ 警告



点検・手入れ時には電源プラグをコンセントから抜いてください。  
けが・感電の恐れがあります。

### 6. 2 日常のお手入れ

#### ・給紙ゴムローラー・セパレーターの清掃

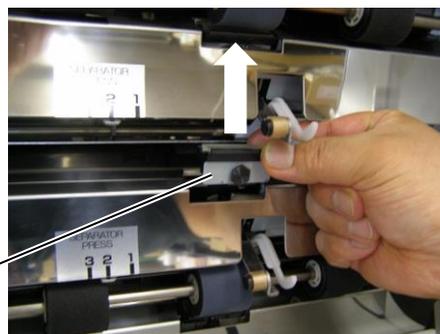


- (1) 補助テーブル、給紙テーブルを外し給紙軸部分を持って軸を左に押し込み、手前に引き抜きます。
- (2) 外した給紙軸の3個の給紙ゴムローラーをゴムローラー専用クリーナー※を染み込ませた布で汚れを落としてください。

※846-24 ゴムローラー専用クリーナー LG-CL500

(3) 同様にセパレーターの汚れも落としてください。セパレーターは下図白矢印方向に引き抜いてゴム部分を清掃します。

(4) 外したときと逆の要領で給紙軸、セパレーターを取付けます。



セパレーター

### **ポイント!**

清掃しても空送り、重送などのトラブルが発生する場合は、給紙ゴムローラー、セパレーターが消耗しています。前ページを参考に給紙ゴムローラー、セパレーターの交換をしてください。給紙ゴムローラーをセットするときは、給紙ゴムローラーの白点が右側になるよう注意してください。また、給紙ローラーホルダーに給紙ゴムローラーをセットした後は、机の上等平らな所で給紙ゴムローラーを回転させて平らに取付けられているか確認してください。(歪んで取付けられていると給紙ミスや重送等給紙トラブルの要因になります)

給紙ゴムローラー交換時は、紙検ワイヤーでけがをしないよう注意してください。

#### ・外装部の清掃

中性洗剤を薄めたものを布に含ませた後、固く絞ってから汚れを拭き取ってください。

#### **注意!**

溶剤系の洗浄液は変色の原因となるので使用しないでください。

#### ・排紙センサーの清掃

使用していると用紙の紙粉が出て、排紙フォトセンサー(下図の←内部にあります)の表面に付着して、センサーの光を遮断してしまい排紙ジャムとなります。そのため、定期的に排紙フォトセンサーを清掃してください。

清掃方法：排紙上ガイドの のぞき穴から綿棒を入れて、フォトセンサーの表面を清掃します。

排紙フォトセンサー(直径5mm位の豆球)は、「のぞき穴」から見えます。



「のぞき穴」

#### **注意!**

給紙テーブルを外したままでコレータを使用しないでください。

動作した際に給紙ローラーに巻き込まれる事がありますので十分ご注意ください。

## 6. 3 消耗品について

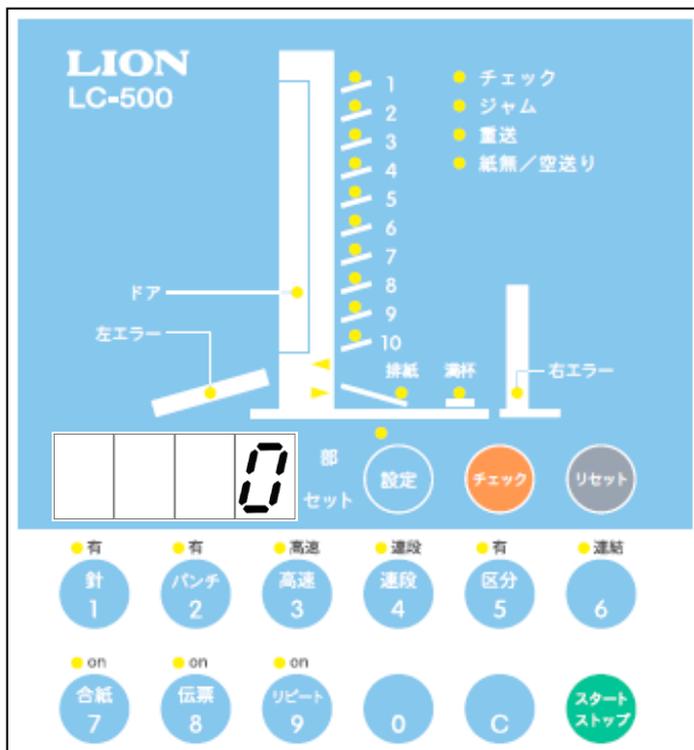
製品に使用されている給紙ゴムローラー・セパレーターは消耗品です。交換が必要な場合は、販売店もしくはお客様相談室までご連絡ください。

846-39 丁合機ゴムローラーセット (LC-500用)

# 7. トラブル時の処置

## 7. 1 ランプ点灯／点滅時の対処

紙無／空送り，ジャム，重送ランプ点滅時は、排紙された用紙の最後の1部を抜き取ってください。  
エラーの部数は、カウントされないため抜き取られた状態がカウンター部数＝排紙部数となります。



現象	原因	対策
チェック (緑の点灯)	正常動作中	使用段と紙厚のチェックを行う
紙無／空送り (緑の点滅)	用紙が終了または空送りが発生した段のランプが点滅 カウンター表示： Err (空送り) End (紙無し)	用紙を追加する 用紙をよくさばく 給紙圧を1段強くする 用紙の表／裏を反転する
ジャム (赤の点滅)	用紙が途中で詰まった時、エラーの発生している段と紙詰まりのランプが点灯 カウンター表示：Err	用紙をよくさばく セパレーター圧を1段弱くする
重送 (赤の点滅)	重送が発生した段と重送のランプが点滅 カウンター表示：Err	用紙をよくさばく セパレーター圧を1段強くする 給紙圧を1段弱くする 同じ段に紙質や印刷の違った用紙が混在する場合に発生する。必ず同一種類の紙質をセットする 重送された余分なページを排紙テーブルから取除く
排紙満杯 (緑の点灯／点滅)	排紙テーブル上の用紙が満杯 カウンター表示：FULL	満杯になった用紙 及び 詰まった用紙を取除いてから「リセット」キーを押す 排紙テーブルを正しくセットする コーラー本体を水平な場所にセットする

現象	原因	対策
排紙 (赤の点灯/点滅)	排紙センサの汚れ又は紙詰まり カウンター表示: Err	排紙フォトセンサーの紙粉を除去する 「6.2 日常のお手入れ」参照
		排紙部に詰まった用紙を除去する
ドア (赤の点灯)	バックドアが開いている	バックドアを閉める(しっかり固定する) 動作中にバックドアが開いた時は赤の点滅になる。その時はバックドアを閉めて「リセット」キーを押す

点滅を解除するには「リセット」キーを押してください。  
点灯の場合は、トラブルが取除かれた時消灯します。

### 特別なエラー表示

カウンター表示	原因	対策
Err0	不揮発メモリの異常	たびたび発生する場合は、販売店もしくはお客様相談室に連絡
Err1	通信エラー	オプションとの接続確認
Err2	センサ不良	販売店もしくはお客様相談室に連絡
Err4	ステープルとパンチが共にOFFに設定されている	ステープル または パンチをONにする または、「単独」に切替える

## 7. 2 トラブルの内容と処置

現象	原因	処置
電源スイッチを入れてもカウンターに何も表示されない	電源プラグが抜けている	電源プラグを確実に差し込む
	ブレーカが働いている	ブレーカをリセットする(下図参照)
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">           ブレーカをリセットするには右図、白矢印(2ヶ所)のブレーカの突起を押してください。         </div> 	
	機械内部の異常	販売店もしくはお客様相談室へ連絡する
「スタート」キーを押しても機械が動かない	用紙チェックがされていない カウンター表示のままでピーと音がする	「チェック」キーを押して試し送りを する
「チェック」キーを押しても機械が動かない(操作部に異常ランプが点灯・点滅している)	バックドアが開いている	確実に閉じる
	排紙満杯または排紙部紙詰まり発生	用紙を取除く
	給紙部で紙が詰まっている	用紙を取除く
	ステープラパンチ使用時、ステープラパンチ内で紙詰まり・針無し・ブレーカ切れ等が発生している	原因を取除く
	機械内部の異常	販売店もしくはお客様相談室へ連絡する
「スタートストップ」キーまたは「チェック」キーを押して機械は作動するが紙を送らない	用紙のセット不良	用紙を各段に確実にセットする

現象	原因	処置
排紙詰まりが多発する 及び排紙が不揃い	排紙テーブルの用紙ガイド類の設定位置がずれている	用紙ガイド類の位置を再調整する
紙詰まり・重送・空送りが多発する	給紙ゴムローラーが汚れている	給紙ゴムローラーを清掃する
	セパレーターが汚れている	セパレーターを清掃する
	用紙がカールしている	カール矯正後給紙テーブルにセットする
	給紙ゴムローラーが摩耗している	給紙ゴムローラー交換する (販売店もしくはお客様相談室へ連絡)
	セパレーターが摩耗している	セパレーターを交換する (販売店もしくはお客様相談室へ連絡)
	電源ONのまま給紙テーブルを着脱した	一度電源をOFFしてから給紙テーブルを再セットする
重送が多発する	セパレーター圧が弱い	セパレーター圧を強くする
	給紙圧が強い	給紙圧を弱くする
空送りが多発する	給紙圧が弱い	給紙圧を強くする
	セパレーター圧が強い	セパレーター圧を弱くする
	コピーした用紙で先端がカールしている	用紙の表／裏を反転させて再セットする
用紙が汚れる	給紙ゴムローラー・セパレーター・搬送ベルトが汚れている	各ローラー・ベルトを清掃する
排紙ランプ点灯	排紙テーブルセット不良	正しくセットする
	本体及び排紙テーブルが水平でない場所に設置されている	水平な場所に設置する
	機械の排紙部分に直射日光があたっている	カーテン等で光を遮り光が当たらないようにする、または機械を直射日光の当たらない場所へ移動する
	排紙フォトセンサーが汚れている	排紙フォトセンサーの紙粉を除去する 「6.2 日常のお手入れ」参照
丁合の処理速度が急に速くなる	機械動作中に排紙部に手や異物が侵入し排紙センサーが誤動作する	機械動作中に排紙部に異物が侵入しないようにする
	本体及び排紙テーブルが水平でない場所に設置されている	水平な場所に設置する
	機械の排紙部分に直射日光があたっている	カーテン等で光を遮り光が当たらないようにする、または機械を直射日光の当たらない場所へ移動する
1枚しか給紙されていないのに重送を表示	同一段の中に紙質の異なる用紙が混在している	同一段の中には同じ紙質の用紙を使用する
	同一段の中に印刷の異なる用紙が混在している	同一段の中には同じ内容の印刷物を使用する
	仕様外の用紙を使用している	仕様内の用紙を使用する
各段のランプが上下に点灯・消灯・移動を繰り返す	テーブル昇降モーターまたはその他電気部品の故障	販売店もしくはお客様相談室へ連絡する
カウンタ表示部に「Lock」が出て機械が停止する(区分け「有」に切替えても排紙テーブルが左右に動かない)	排紙テーブルが本体に正しくセットされていない	排紙テーブルが正しくセットされているか確認
排紙テーブルが動かない	区分け無しの設定になっている	区分け設定を有りの設定にする。 「5.5 区分け有／無」参照

## 7. 3 故障の場合

修理が必要な故障の場合は、販売店もしくはお客様相談室までご連絡ください。

## 8. 移設または廃棄するとき

### 8. 1 移設

#### 8. 1. 1 旧設置場所からの撤去作業

電源プラグをコンセントから抜き取る。

#### 8. 1. 2 運搬

- ・ 取外した部品や付属品、取扱説明書を一緒に運ぶ。
- ・ 強い振動や衝撃を与えないようにする。

#### 8. 1. 3 移設先での設置

機械（単独・オプション使用時とも）を移動するときは販売店もしくはお客様相談室にご相談ください。

### 8. 2 廃棄

廃棄する際は、各地方自治体の政令に従い産業廃棄物処理業者に依頼するなど、適切な処理をしてください。

## 9. 製品仕様

### 9. 1 仕様

丁合段数	10段
給紙方法	ローラーセパレーター方式
各段給紙積載量	28mm（上質紙 64g/m <sup>2</sup> 350枚相当）
搬送方法	ベルトローラー式
排紙積載量	約65mm
排紙区分方式	左右首振り区分（スイングインデックス）棒積
処理速度	40・70セット/分（A4横通し時）
用紙サイズ	A3SR・A3・B4・A4・B5・A5 最大328×469mm、最小95×150mm
紙質	52～157g/m <sup>2</sup> 上質紙・中質紙・上質孔版紙・更紙 ※157g/m <sup>2</sup> は最大A3サイズまで
使用給紙段検知	「チェック」キーによる試し送りで使用段数をチェック
使用紙質検知	「チェック」キーによる試し送りで各棚の用紙厚さをチェック
給紙ミス検知	空送り・紙無し・紙詰まり・重送（光センサーによる検知）
その他の検知	排紙テーブル用紙満杯検知・排紙詰まり検知・バックドア開閉検知 （オプションの後処理機装着時針なし検知・紙詰まり検知） カウンターデジタル表示4桁・加算/減算（プリセット）切替え可能
付加機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給紙テーブル自動昇降</li> <li>・連段切替え（各2段を1段として使用）</li> <li>・合紙モード（指定セットごとに合紙を挿入）</li> <li>・伝票モード（1段目に表表紙、10段目に裏表紙をセットし、システム手帳・伝票等の丁合用として使用）</li> <li>・給紙圧3段（1段目・10段目が4段切替え、2～9段目が3段切替え）</li> <li>・セパレーター圧3段（銘板に表示はないが4段目内蔵・・・特殊な用紙に使用）</li> </ul>
電源	AC100V±10% 50-60Hz
消費電力	120W
機械寸法	W755×D540×H1060mm
機械質量	約80kg

※仕様は改良のため予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

# 取扱説明書

## 卓上オートコレクター LC-500

### お客様相談室

フリーダイヤル

お問い合わせは平日午前9時より12時、午後1時より5時とさせていただきます。

TEL ☎ 0120-074416      FAX ☎ 0120-402539



株式  
会社

**ライオン事務器**

本 社 〒164-0003 東京都中野区東中野2丁目6番11号